

臨床研究「潰瘍性大腸炎に対するテロメア伸長剤の有効性に関する研究」について

筑波大学附属病院消化器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

潰瘍性大腸炎は難病で炎症を抑えるのみでは再発しやすいことが知られています。現在では炎症抑制だけでなく、潰瘍を治癒する粘膜再生が治療目標となっていますが、粘膜の腸上皮細胞を直接再生や正常化させる治療薬はほとんどありません。当教室ではテロメアという染色体の末端にある構造が短くなることで腸上皮細胞が異常となることを発見しました。そこで、本研究ではテロメア伸長作用のある化合物により腸上皮細胞の再生や正常化を認めるか解析することを目的としています。

② 研究対象者

以前に下記の研究で同意された方

R03-137「手術を要する炎症性腸疾患の原因・病態に関する研究」

R03-138「難治性小腸疾患の病態解明研究」

R04-014「難治性下部消化管疾患の病態解明及びバイオマーカー・新規治療標的の探索」

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年7月31日まで

④ 研究の方法

すでに採取された大腸組織から大腸上皮細胞を培養しています。大腸上皮培養細胞にテロメア伸長作用のある化合物を用いて、再生効果や炎症耐性効果、上皮細胞の正常化について調べます。

⑤ 試料・情報の項目

大腸上皮培養細胞、病名、年齢、性別

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：土屋 輝一郎、筑波大学医学医療系消化器内科、教授

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 本研究と利益相反について

1) 「利益相反」の説明

臨床研究における利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

2) 共同研究機関および利益相反の有無、内容説明に関する記載

本研究は、株式会社 AIMO PHAMA からの共同研究資金により行われ、今回の研究に関する研究費を受け入れます。この他、特定の団体からの資金提供は受けておりません。また企業所属の研究者が本研究に参加しますが、結果の解釈は行いません。

共同研究機関：株式会社 AIMO PHAMA 責任者 三上貴浩

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：消化器内科 担当 土屋 輝一郎

電話番号（緊急連絡先）： 029-853-3218 （平日 9:00~17:00）